

地域の子は地域ですやかに育てよう



青少年つるが

青少年健全育成敦賀市民会議 第23号

2012年度 ひまわり塾

舞鶴若狭自動車道工事現場の見学



昆布かき体験



炭焼き見学



ソバ打ち体験



まずは実践

青少年健全育成敦賀市民会議

会長 籠 正義

我々の子ども時代は、やたらと家の仕事を手伝わされましたし、また、けっこう家の労働力として期待され、間に合っていた様に思います。

私もよく祖母に連れられて畑の草刈りをさせられました。遊ぶ時間が奪われ、ブツブツ文句を言いつつながらも、

「いくら文句を言ってもいいよ。でも、手だけはちゃんと動かすんや。手さえ動いておれば、それだけ草は減るもんや。口より手が肝心や。」

と言われたものです。
たしかに、ブツブツ言いつつも、ポツポツと手を動かしていると、いつの間にか畝、二畝と進み、畑がきれいになっていました。そこで祖母はひと言つけ加えました。

「こまは動いているから回るんや。自転車も走っている時は倒れないが、止まると倒れるや。川の水は流れているから腐らんのや。汲んでおいた水は腐るで。」

今の世の中、不平不満の言い合いが多く、また理屈ばかりの評論家が多く目につきます。特に難題が山積している今日、これではかえって解決というよりもさらに問題を複雑化してくる様にさえ感じます。前述した草取りの様に何事も汗を流すこと、実践することが大切だと思います。実践の中から、またいろいろな考えがわいてくるでしょうし、工夫も生まれてきます。何ごともまずは実践を...と思いますが、いかがでしょうか。



郷土の今と昔を知り
自然にふれあいながら
豊かな心情を培う

2012年度

ひまわり塾

「舞鶴若狭自動車道 工事現場の見学」



7月21日(土)

- 4年生 18名 (男子12名 女子6名)
- 5年生 8名 (男子5名 女子3名)
- 6年生 4名 (男子3名 女子1名)

*塾生 30名
*会長・副会長及び推進員 10名

●トンネル、高速道路はたくさんの人たちと協力しているんだと初めて知りました。ほくたちも、高速道路に「ひまわり」をすてたり、めいわな事をしないように心がけます。また、大人の人、事故を起こさないようにしたら人間もなくなったりけがをしらないからです。安全で安心な高速道路を作ってくれた人たちにありがとうを言いました。トンネルの作業をしていただきます。今日は高速道路トンネルの作業をしていただきます。今日は高速道路トンネルの作業をしていただきます。今日は高速道路トンネルの作業をしていただきます。



トンネルの作業をしていただきます。今日は高速道路トンネルの作業をしていただきます。今日は高速道路トンネルの作業をしていただきます。今日は高速道路トンネルの作業をしていただきます。

●今日はトンネル工事の時、工事用の電気をいれて「oooooooooooo」の電気をいれてトンネルの中に入りました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。

●今日は工事現場に行きました。行くために暗いトンネルを歩きました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。



●今日はトンネル工事の時、トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。トンネルの中は暗いので、懐電を持ってトンネルの中に入りました。

●道路を作るには、いろいろな機械が活躍しています。道路を作るには、いろいろな機械が活躍しています。道路を作るには、いろいろな機械が活躍しています。道路を作るには、いろいろな機械が活躍しています。

「敦賀と昆布かき体験」



8月18日(土)

- 4年生 16名 (男子11名 女子5名)
- 5年生 10名 (男子4名 女子6名)
- 6年生 5名 (男子3名 女子2名)

*塾生 31名
*副会長及び推進員 19名

●最初は昆布をかきかかんだんだと思っていたけど、やってみたらすごくむずかしかったので、よく人は力があるんだなあと思いました。ほくはあまりじょうずじゃなかったけど、「うまい」「きれい」と言われていた人がいたので、やりました。きょう学んだことはかんだんだと思っても、やってみたらむずかしいです。次に昆布をかきかかんだんだと思っても、やってみたらむずかしいです。次に昆布をかきかかんだんだと思っても、やってみたらむずかしいです。



●今日は初めて昆布かき体験ができてよかったです。今日は初めて昆布かき体験ができてよかったです。今日は初めて昆布かき体験ができてよかったです。今日は初めて昆布かき体験ができてよかったです。

●昆布かき体験が、力がいることがわかり、技術も必要だと思いました。また、職人さんは、切込みがきれいな人です。このように技術を習得したのだと思いました。また、職人さんは、切込みがきれいな人です。このように技術を習得したのだと思いました。また、職人さんは、切込みがきれいな人です。このように技術を習得したのだと思いました。



●今日は、初めて昆布かき体験が出来て、とても楽しかったです。みた時はとてもかんたんそうにしていたのに、やってみるとかたくてとても力が入りました。

●今日は、初めて昆布かき体験が出来て、とても楽しかったです。みた時はとてもかんたんそうにしていたのに、やってみるとかたくてとても力が入りました。また、来年も、昆布かき体験をしたいです。また、来年も、昆布かき体験をしたいです。また、来年も、昆布かき体験をしたいです。また、来年も、昆布かき体験をしたいです。





林 恵子の Vol.14 きらきら coramu

「生きる力、自立する力」

大卒の二人に一人、高卒の三人に二人…。何の数字かご存知ですか？学校を中退、あるいは卒業して就職できない、あるいは就職後三年以内に離職している数だそうなんです。その結果、日本の国際競争力の順位がこの10年で1位から27位に落ちているそうです。「子どもの教育」とは、「社会人として生きる力を培う事」です。現在、子ども達は様々な教育をびつしりと受けているはずなのに、それが反対に成長を阻害していることが多々あるようです。養分を与えすぎて、栄養過多になり、自らの力で成長することができなくなっているのです。「過保護・過干渉」は、子どもたちが成長するうえで決して良いことではありません。親として一番難しく、一番大切なことは、「手伝う事をしないで、我慢して、見守ること」だと思います。子ども達には、自分で考え行動できることがとても大切です。それが、できたときは十分褒めてあげましょう。自己肯定感が生まれ、生きる力が増していきます。

青少年健全育成 福井県民大会

◆テーマ
「育てよう 未来に輝く 子どもたち」
平成24年11月25日(日)
13時30分～16時
いまだて芸術館にて

◆講演 子ども的心を受けとめて
「子どもの悩み」を通して
◆講師 福井大学大学院 教授 森 透氏

地域社会が一体となった青少年健全育成運動を推進するため、家庭や地域の役割についての講演会や、少年の主張の発表などを通じて、青少年健全育成についての県民意識の高揚を図る趣旨で開催されました。

◆ 賛助会費のご報告 ◆

当市民会議の趣旨にご賛同いただき、誠にありがとうございました。賛助金の24年度の募集結果は下記の通りです。
(11月14日現在)

☆賛助会員数…… 14,391名
☆賛助会費…… 1,996,554円

青少年健全育成活動の趣旨をご理解いただき、今年度もこのように多くの賛助会費を賜り厚くお礼申し上げます。これからも青少年育成活動に一層邁進していく所存ですので、ご指導よろしくお願ひいたします。

ありがたう ございました!



平成24年度 青少年からのメッセージ 青少年へのメッセージ

応募資格
市内にお住まい、または、通勤、通学されている小学生以上の方

応募作品
各部門とも1人1点で未発表のもの

応募期間
平成24年12月4日(火)
平成25年1月15日(火)

募集します!!
青少年健全育成教育市民会議では、青少年に関する作文と図画・ポスターを募集します。

作文

【内容】
●家庭・学校・地域などで日頃考えていることや言いたいこと
●子どものことについて考えていること
●自分の将来の夢や希望
●私の訴えたいこと
●職場や団体での青少年健全育成の活動体験など

図画・ポスター

【内容】
●明るく楽しい家庭
●明るく楽しい学校生活
●住みよいまちづくり
●子ども会・サークル活動など

【作品規定】
★小学1・2年生はハツ切り図画
★小学3年生以上は四ツ切りポスター
★中学生・高校生は四ツ切りポスター
★一般は四ツ切りポスター
*応募票を作品の裏面右上部に貼付してください。



応募票は各学校に配布します。一般の方は少年愛護センターまでご連絡下さい。
お問い合わせ 申込先 青少年健全育成教育市民会議 事務局(少年愛護センター内) ☎23-0189

市民会議で活動しませんか?

皆様の青少年への思いを、市民会議で語ってみませんか。参加をお待ちしております。

毎月15日は青少年育成の日

今月の推進テーマは 『仲間をふやし、思いやりのある心を育てよう。』

毎月第3日曜日は 家庭の日

今月の推進テーマは 『働く人びとに感謝し、自分でできる仕事や奉仕を受け持とう。』



Stella Voce

ステラ ヴォーチェとは 『星の歌声』という意味です。
平成25年2月10日(日) プラザ萬象 小ホールにて
ステラ ヴォーチェは福井県内を中心に活動しているプロのヴォーカルグループです。二〇〇五年に結成し、現在までにホールでのコンサートから慰問コンサートなど、様々な舞台で演奏しており、ポピュラー・クラシックという新しいジャンルに位置し、クラシックから童謡まで、オリジナルティあふれる音楽を奏でていきます。

『青少年つるが』第23号

平成24年11月27日 広報部
編集・発行 青少年健全育成教育市民会議
事務局 少年愛護センター内
〒914-0047 敦賀市東洋町1の1
TEL 233-0189
FAX 233-0523
E-MAIL nms_aigo@ton21.ne.jp

皆様の意見を募集しております